

あとしそい  
あわかれ...

★  
ありがとう。

福社避難知マルク No. 8

宮城県仙台市宮城野区田子字富里 223

2011年5月30日発行

発行元：宮城野の里内 マルク(福) △ 022-388-8777 FAX 022-388-8778

発行責任者：相馬由里(7葉) ※ ご意見・ご感想 など連絡は  
こちらまで... → marufuku@miya.kou-suku.or.jp

◎ 松島まで行って来たよ!

先日、マルクの皆様とスタッフで、松島観光に行ってきたよ。  
天気はあいにくの雨でしたが、車内では、道中の景色を見ながら、40分の道のりも、あっという間に到着しました。  
松島でも、今回の津波の被害を受けており、まだ営業も行っていないお店も目立ちましたが、他の観光客もたくさん来ていました。雨天だった為、車内からの松島見物でしたが、皆「久しぶりに見たっや」「いい景色だっや」等、笑顔で盛り上がりしていました。しかし商店街でシャッターが折れ曲っていたり、花や木が枯れている被害を見て、「ここは浮んでいる島のなかで、津波の勢いが弱くなったんだね。ここは観光地だから早く元どおりに戻るといいね」と皆で早い復興を願いました。  
帰りは途中で松島をバックに記念撮影をして帰って来ました。



◎ 福ジギスカンパーティー ◎

北海道民も 実は「カナカ 食わない...」という  
「ちゃんちゃん焼き」をたて続けに  
4度も食べた 旨さん。  
「もう十分...」という声もとうとう聞え  
今回は「ジギスカンパーティー」  
S藤さんの明日の旅立ちも祝、  
カンパイ!!



◎ 自宅での様子 ◎

本日現在で  
5月31日に  
11時方ほ  
7時。  
8月0.あさで、  
学女が  
入ります。

以前(福)で生活していたS藤さんの家に、その後の様子を見に行きました。まだ片付けの最中で僕達も庭の片付けや、塩水で枯れてしまった花等の落葉拾いを手っぴいしました。全体から見ると、ほとんどの木がかしこ力になれなかつた。家に帰る事は出来たが、普段の生活を取り戻すまでの道のりは長きにわたるでしょう。でも皆さん一人ではありません。S藤さん含め(福)の皆さん「その後の生活」が無事過せる様に北海道から祈っています。皆の台言葉は「糸」北海道より祈りを込めて糸巾町のN.M.